

授業科目	発達臨床心理学演習				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31409J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-2 DP4-3			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	近年、社会の急激な変化の中で、発達臨床的ニーズを有する子ども・人々が増加している。これらのニーズに対応するためには、人間の「心のメカニズム」への深い理解が必要であるが、そのためには、生物学的側面や認知、言語機能などの個人内の機能だけでなく、対象児・者の生活や人間関係など多様な環境的側面も含んだ包括的な理解の観点も不可欠である。本演習では、発達臨床心理学の実践研究から事例の分析・グループ討議を行い、発達のニーズを有する子ども・人々への支援の在り方について検討することを目的とする。							
学生が達成すべき行動目標	1. 事例研究の基礎を身につけている (1) 各事例の発達の特徴や心理的課題の理解に基づき、心理臨床学的支援の意義と課題を説明することができる(DP 2-1、4-3) (2) 事例論文の内容について、倫理的に適切に判断し、取り扱うことができる(DP2-2) 2. 事例研究を発展させることができる (3) 複数の研究成果を分析、検討して、発達臨床のあり方について、意見を表現することができる(DP3-1、3-2,4-3)							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			50				50	
思考・判断 (DP2-2)			10				10	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			30				30	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)			10				10	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 事例研究を客観的に評価し、コメントできる 2. 事例研究から独自の視点を導き、さまざまな研究成果を統合できる				1. 事例研究の基礎を身につけている 2. 事例研究を発展させることができる				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	オリエンテーション 事例研究とは	オリエンテーション 講義	復習:授業の内容を振り返る。	15
2	事例研究の検討	講義・演習	復習:授業の内容を振り返る。	30
3	事例研究の文献講読 1 「発達障害の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
4	事例研究の文献講読 2 「発達障害の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
5	事例研究の文献講読 3 「学齢期の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
6	事例研究の文献講読 4 「学齢期の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
7	事例研究の文献講読 5 「青年期の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
8	事例研究の文献講読 6 「青年期の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
9	事例研究の文献講読 7 「中年期の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
10	事例研究の文献講読 8 「中年期の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
11	事例研究の文献講読 9 「老年期の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
12	事例研究の文献講読 10 「老年期の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。	演習	復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	40
13	事例研究の文献講読 11 これまでに講読した事例論文の比較検討を行う。(事例の理解のあり方の点から)	演習	予習:これまで授業で検討された事例論文を見直す。 復習:複数の論文を比較検討し、その特徴をまとめる。	40
14	事例研究の文献講読 12 これまでに講読した事例論文の比較検討を行う。(事例の支援のあり方の点から)	演習	予習:これまで授業で検討された事例論文を見直す。 復習:複数の論文を比較検討し、その特徴をまとめる。	100
15	まとめ・振り返り	講義・演習	復習:発達のニーズを有する子ども・人々への支援の在り方について意見をまとめる。	100
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	『臨床心理学概論』『カウンセリング論』で学ぶ臨床心理学やカウンセリングの基礎知識、『発達心理学Ⅰ』『発達心理学Ⅱ』で学ぶ生涯発達心理学の基礎知識、『発達臨床心理学』で学ぶ発達における障害を抱えた方の理解のし方と援助法についての基礎知識を有していることが望ましい。			
テキスト	特になし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『発達心理学研究』 『心理臨床学研究』 『教育心理学研究』 『21の実践から学ぶ臨床発達心理学の実践研究ハンドブック』 臨床発達心理士認定機構・日本発達心理士会(編) データベース CiNii 医学中央雑誌Web など			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	資料を何度も読み返すこと、分からないことを放置しないで教員に尋ねることなど、学習の基本が大切です。			
達成度評価に関するコメント	「レポート」の課題については、授業の中で詳しく説明を行う。			

